

一般社団法人SCBラボ
2019/04/25

SCB-AL 研修カリキュラム について

概要

- 地域コミュニティブランド（**Social Community Brand=SCB**）は2011年に星合隆成崇城大学情報学部教授によって提唱された地域活性化の理論です。
- 現代においては、様々な地域課題が存在し、その課題の解決に取り組む活動が多数存在します。SCB理論はそれら課題解決の活動を連携させることで地域活性化プラットフォームを作り、効率的に地域課題を解決することを説いています。
- 研修は、プロジェクトを通じた実践的な学び（SCBアクティブラーニング=SCB-AL）によって進められ、（1）SCB理論（2）事例紹介（3）具体的手法（4）ワークショップという4段階を学ぶことによって地域課題の解決やイノベーション創出による社会変革に取り組む人材が育成されるよう構成されています。

SCB-ALの 教育プログラム

- 第Ⅰ部 理論編（1時間）
 - SCB理論誕生の背景（P2P理論）
 - SCB理論の内容
 - SCBプロジェクト（概要）
 - SCB理論を支えるICT理論
- 第Ⅱ部 実践編（1時間）
 - 事例紹介（SCBプロジェクトの詳細）
 - メディア資源のつながりによる地域メディアの構築
 - 教育資源のつながりによるアカデミー（学校）の構築
 - 教育資源のつながりによる大学改革など

SCB-ALの 教育プログラム

- 第III部 メソッド編（1時間30分）
 - SCBメソッドの紹介
 - SCBメソッドの実践
- 第IV部 ワークショップ編（各1時間）
 - 情報発信の実践
 - プレゼンテーションの実践
 - プログラミングの実践
 - IoT/AIの実践
 - オープンイノベーションの実践

SCB-ALの教育プログラム

①SCB理論

- ・つながることとは
- ・仮想化（ピア）
- ・体系化（トポロジー）
- ・可視化
（プラットフォーム）
- ・背景となる
P2P理論やICT理論
- ・イトコ

1.0H

②事例紹介

- ・SCB放送局
- ・イノベーション
アカデミー
- ・大学改革
- ・ジョブラボぐんま
- ・nanotech
- ・SCB自転車塾

1.0H

③SCBメソッド

- ・つながりの拡大・効率化
- ・多様なコミュニティ
- ・芋づる式接続
- ・活動でつながる
（インタフェース）
- ・物語を発信
- ・メディアを保有
- ・SCBの17箇条
- ・SCBファイブボックス

1.5H

④ワークショップ

- ・情報発信（ラジオ）
- ・情報発信（動画）
- ・SCBプログラミング
- ・IoT/AI
- ・プレゼンテーション
- ・異分野イノベーション
（選択可能）

各1.0H